

# 学園点描

朝、9年生の一人の生徒と真っ青な空を見上げます。飛行機雲が伸びていました。空を見ながら不安そうな高校受験への思いを話してくれました。

《H学園》

最終号 R8. 3. 11

担当：校長

2月26日（木）9年生が3年間にわたって取り組んできた総合的な学習の時間の発表会が行われました。当日は、探究活動にご協力いただいた地域の方々にもご参加いただきました。

スイーツの販売に挑戦したチームや、I田里芋の知名度向上を目指したチームなど、いずれもふるさとを題材にした発表でした。「昔語り」を探究したチームに、「地域にとっての価値は」という質問をしました。これに対し、発表した3人の生徒それぞれが自分の考えを語る姿が印象的でした。この学びを通して得た思いや気付きは、きっとこれからの人生の中で生きてくることでしょう。

2月27日（金）のY新聞に、本校8年生のT・Nさんの提言文「クマ対策は観光客減を防ぐ」が掲載されました。地域の課題に目を向け、自分の考えを社会に発信した立派な意見です。きっと読んだ人の心に何かを残す内容だと思います。

## 最後のたよりに

「バババーン！」と音がして、当時勤務していた学校のトイレのタイルが全て落ちました。校舎にもあちらこちらに亀裂が入りました。宮城県に一番近い学校だったため、地震の影響は甚大でした。中学3学年の主任だったわたしに、生徒たちは「卒業式できますよね？」と泣きそうな顔で聞いてきました。「生きていればいつでもできる。」と答えるのがやっとでした。

東日本大震災は、15年前の3月11日午後2時46分18秒に発生しました。岩手県では公立高校入試が終わった時間でした。家族がそれぞれの場所で二度と会うことなく永遠の別れになる、一瞬にして、自分以外の家族全員がこの世からいなくなる、そんな信じられないことが突然やってきました。

読売新聞の「人生案内」欄には、人生についての相談と、専門家からの回答が連載として掲載されています。東日本大震災発生から数ヶ月後に、ひとつの投書がありました。

### 【投書（A子）】

『大学生の女子です。何をしてもあのことばかり思い出してしまいます。あの日、わたしは祖母と一緒に逃げました。でも祖母は坂道の途中で「これ以上走れない」と言って座り込みました。わたしは祖母を背負おうとしましたが、祖母は頑として私の背中に乗ろうとせず、怒りながら私に「行け、行け」と言いました。私は祖母に謝りながら一人で逃げました。祖母は3日後、別れた場所からずっと離れたところで遺体となって発見されました。気品があって優しい祖母は私の憧れでした。でもその最期は、体育館で魚市場の魚のように転がされ、人間としての尊厳などどこにもない姿だったのです。助けられたはずの祖母を見殺しにし、自分だけ逃げてしまいました。そんな自分を、一生呪って生きていくしかしょうがない

のでしょうか。どうすれば償えますか。毎日とても苦しくて涙がでます。助けてください。』

(読売新聞 朝刊「人生案内」2011年5月23日)

この記事の隣には、回答の文章が掲載されています。

### 【回答（海原純子 心療内科医）】

『お手紙を読みながら涙が止まらなくなりました。こんなに重い苦しみの中でどんなにつらい毎日かと思うとたまりません。ただ、あなたは祖母を見殺しにしたと思ってらっしゃいますが、私にはそうとは思えません。おばあさまはご自分の意志であなたを一人で行かせたのです。一緒に逃げたら二人とも助からない、でもあなた一人なら絶対に助かる。そう判断したからこそ、あなたの背中に乗ることを頑として拒否したのでしょう。

おばあさまは瞬時の判断力をお持ちでした。その判断力は正しくあなたは生き抜いた。おばあさまの意志の反映です。人はどんな姿になろうとも外見で尊厳が損なわれることは決してありません。たとえ体育館で転がされるように横たわっていても、おばあさまは凜とした誇りを持って生を全うされたと思います。おばあさまの素晴らしさはあなたの中に受け継がれていることを忘れないでください。おばあさまが生きていたらかけた言葉、してあげたいことを周りにいる人たちにかけて、してあげたりしてください。そのようにして生き抜くことが、憧れだったおばあさまの心を生かす道に思えます。』

(読売新聞朝刊「人生案内」 2011. 5. 23)

あれから15年になります。体育館が遺体収容所となり、スマートフォンの警報が鳴り止むことのなかった日々。それはちょうど今週卒業する第10回卒業生が生まれた数か月後に起きた出来事でした。

あの日以来、“教育とは、学校とは何だろう”と自問することが多くなりました。

そんなとき、夢や希望に向かって挑戦しようとする児童や生徒をみると、何か答えにたどり着けそうに思うのです。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

